

ぴりぴりと目鼻頬耳からしはれ
 鳩の翔ぶ空はいちまい寒日和
 着水の鵲羽根裏まで白く
 ぼたん雪なり音を消し街を消し
 山国や太く短き晦日蕎麦
 伊那谷を凧の吹き抜けるなり
 樗大樹の中心は洞鳥の恋
 枯れきつて能登半島を近くせり
 着ぶくれて猫背の影を大きくす
 稲荷堂の暗き裏側笹子鳴く
 日記買ふいつものボールペンも買ふ
 霜の朝ガリバーのごと歩むなり
 厚紙の手触りであり枯はちす
 横ざまに海鷗飛び行き冬怒濤
 去年今年枕に沈む子の寝顔

三浦	池畠	江崎	阿部	倉持	橋本	高橋	森	東村	小野瀬	佐藤	澤畠	廣瀬	小坪	大江
香都子	裕子	あい	のりこ	たけし	公子	伸	朝子	まさみ	まこと	洋子	照子	茂雄	秀樹	貴久

石棺の蓋の凸凹冬ざるる

春へ春へと富士は裾野を長くして

ふはと浮かべり立春の朝の月

鶯張り怖くて冬の蜂去りぬ

土のもの木のもの民藝館ぬくし

欠席者の空間の默寒かりき

噓して一瞬暗きこの世なり

霧島嵐せんぎり大根真白なり

風花に大地湿らす力あり

思ひがけぬ人よりの文雪匂ふ

春駒の駆けて来る音飴を切る

見守られゑると思へり初鏡

おだやかな日々の続きて寒牡丹

瀧音を吸ひ込んでをり冬の山

沈思黙考寒鯉の向き変へず

赤尾杉 昌子

藤谷 光信

岡崎 桂子

廣瀬 茂雄

安田 青葉

島津 教恵

成井 侃

中原 修子

廣中 恵子

小林 悦子

山中 明子

楠山 洋子

牧長 幸子

佐藤 千珠

坂本 京子